



# 厚生大臣より表彰を受け上京した福田さんは語る

長洲町腹赤愛育班は、このほど母子衛生の優良区として、全国表彰八地区の中の一つとして厚生大臣から栄えある表彰をうけた。これは関係各位の献身的努力と住民一人一への協力のたまものだと深く感謝の意をさへげると、益々真の母子衛生の推進と、ひいては健康な家庭、明るい町づくりの為に今後も努力されん事を懇願します。

拝去る十月二十四日表彰式に出席されました前愛育会長福田みつるさん(四五)に表彰の横様を次の事く語つてもらつた。

▽腹赤の母子愛育会が誕生いたしましたのは二十九年八月でした。足かけ六年、荒尾保健所からのお話で、当初は、婦人会がそのまま「愛育会」といふ形で発足しました。

そうして母子愛育会についての知識の向上と実践につとめました。一年から行事の重な

或特定の人が私に対して「東お前は絶対正直か?」ときくのでなく自分が自分の中にきくのであるから、私も自分の心にきいてみた。然し「何を馬鹿げた事を」と云う気持丈だった。

アーティストになつて丁度、東京で歌を歌つて見えた。そして真面目で歌を歌つて見えた。

私はバギオで日本軍が日本軍を占領していました。

私が十五才の時、日本軍がフ

ラムを攻撃して、日本人を憎んでいた。何とむごい奴等だ

た。そしてすり落ちて突き差さ

れた。何回も。そればかりではない。私の祖父祖母は

つけられ火だるまになつて走

り乍ら黒こげになつて死ん

た。その結果、日本人を憎む心を持てば今夜

の君もきっと私を憎むでしょ

う。私が憎んでいる以上に:

私はハガキで日本軍を攻撃して見えた。

私はハガキで日本軍を攻撃して見えた。